

# 一主婦からの新発田市政通信

皆様これで良いですか

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

平成 25 年 11 月 2 日 第 9 号

新潟市では連結バス導入反対の署名活動が行われています。市民に対する説明不足や税金の無駄遣い等が指摘されている様です。新発田市の駅前複合施設問題と根が同じ様に思います。

## 1 施設維持管理費用が財政負担になりませんか

10月21日のNHKのクローズアップ現代において、郊外へと拡大した街の施設の維持管理費用が財政の負担となった為、行政主導により、街の中心に住民を集めようとするが進んでいないという話題がありました。新発田市では合併後も残されている各支所や地域コミュニティセンター等が十分に活用されていないと聞いています。新発田市でも今後、これらの施設維持管理費用が市の財政を圧迫するのではないのでしょうか。少しずつ人口が減少している新発田市において、新しい建物を建てて便利さだけを求めるのではなく、各地域に住む住民自身が知恵を出しあい、維持方法を考え、身の丈にあった生活をしていく事が大切と考えます。あれもこれも欲しいではいつの日か財政が破綻する日が来るのではないのでしょうか。

## 2 これを審査した事になるのですか

10月22日に3回目基本設計ワークショップ、翌日23日に3回目駅前複合施設審査会が開催されました。

ワークショップにおいて、機能配置図の検討が行われました。その中、駐車場不足の問題や複合施設の中にキッチンスタジオや音楽練習場等を入れることについて疑問の声が上がりました。また図書館は大切だが、それをどう中心市街地の活性化に繋げるのかについても考える必要がある等の意見が出ました。キッチンスタジオについては、既存の施設（地域交流センターや複合施設予定地に近い市保健センター等には殆ど利用されていない調理施設があるとの事です）をもっと利用すべきという意見があり、次回ワークショップで検討してはどうかとの要望が出されました。本来であれば、複合施設に何を入れるかは、ワークショップ開催前に、市民の意見をよく聴き議論した上で決定されていなければならない事です。それをしてこなかった行政側の拙速さが今になって露呈した形です。

一方、翌日の審査会では、委員になっている観光課課長や食育に関わる委員の方からキッチンスタジオは必要との意見、子育てサークルの方からはサークル活動の為に部屋が必要、図書館利用者からは開架図書スペースを出来るだけ広く等の意見が出たのですが、これでは各委員がそれぞれの立場で自分の意見を述べるだけであり、客観的な評価や審査が出来ていないと感じました。中立的な立場で審査すべき審査会のメンバーに行政側の委員が2名入っている事も疑問です。

キッチンスタジオや音楽練習室が何故必要なのか、また、図書館や

子供支援センター以外の機能の必要性についても、ワークショップメンバーと審査会委員が同じテーブルにつき、全体で議論した方が良いと思います。設計会社を通してワークショップの要約が審査会に伝えられる為、より事を難しくしていると思われまます。今の状態では、審査会とワークショップに分けて話し合う組織の違いが、私にはよくわかりません。このまま基本設計が決定され、大切な税金が使われてよいのでしょうか。

## 3 駅前地下道の危険性について

10月21日、駅前街頭で8号通信を配った後、駅の地下道を自転車を通ってみました。見ているのと実際に体験してみるとは大違いでした。降り時は特に転倒の危険があり、同時に他の人を傷つける恐れがあります。体験して初めて事の重大さを認識しました。

11月1日付けの広報に、駅東交通広場整備を進めるとありました。橋上駅化と比較して、どの程度お金が節約できるというのでしょうか。また、整備後の駅東側が、どれだけの人で賑わうというのでしょうか。現在も人通りの少ない駅東側では不審者が出没すると聞いています。平成27年度に設置される予定の地下エレベーターを女性一人で夜間利用する事を想像してみてください。突然に不審者が同乗して来るかもしれません。また昨今、頻繁に起こっている大雨による洪水の際には、突然に地下に水が流れ込む危険性があります。地下道は防災上も防犯上も問題があると思います。

大阪から来た友人が新発田のこの状態を見て、大阪では、これまでであった地下道を廃止し橋上化を進める方向なのに、新発田は反対の事をやっていると言っていました。もう一度、市民全体で防災上も防犯上も問題がある地下道及び地下エレベーター設置について再検討する必要があると思います。新庁舎や複合施設建設よりも、市民の生命に危険を及ぼしかねないこの問題を早急に解決しなければならぬと思います。

## 4 市政通信6号の訂正について

通信6号に対し、下妻副市長より「青木さんの記事には間違いが多い」と御指摘を受けました。その内容は、「9月議会で市長は図書館競争とは言っていない。都市間競争と言ったはずだ」と。市長の名誉を傷つけるとの主旨の御指摘でした。議会事務局で議事録を見せて頂きました。確かに都市間競争と記されていました。訂正しお詫び致します。私の通信に疑問がある時は、読んで下さる皆様でご自分で確認し、判断して頂きます様お願い致します。

これまでの私の通信を読んで下さった方が、「あなたのような人を支えるのが図書館の役目です」と言って下さいました。この言葉に支えられ、今後も通信を出して行こうと思っています。